2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月10日

上場会社名	石井食品株式会社		上場取引所　東
コード番号	2894　　ＵＲＬ　https://www.ishiifood.co.jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長執行役員	（氏名）石井　智康	
問合せ先責任者	（役職名）執行役員コーポレート部経理グループマネージャー	（氏名）村上　樹生	ＴＥＬ　047（774）8748

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	2,871	5.2	137	0.4	147	8.4	100	33.6
2026年３月期第１四半期	2,728	0.4	137	100.4	135	82.4	75	395.2

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　178百万円（182.2%）　2026年３月期第１四半期　63百万円（△23.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	6.05	－
2026年３月期第１四半期	4.53	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	8,216	3,931	47.9
2026年３月期	8,200	3,819	46.6

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　3,931百万円　2026年３月期　3,819百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	4.00	4.00
2027年３月期	－				
2027年３月期（予想）		0.00	－	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,199	2.0	150	－	155	－	70	－	4.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付資料９ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Q	18,392,000株	2026年３月期	18,392,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Q	1,745,281株	2026年３月期	1,745,281株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Q	16,646,719株	2026年３月期１Q	16,646,744株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、春闘における高い水準の賃上げなどにより、雇用・所得環境の改善が進みました。しかしながら、中東情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や円安の進行にともなう物価高により生活コスト全般の上昇が続いており、消費者の節約・低価格志向は依然として根強く推移しております。

一方で、このような節約志向の高まりは、外食を控え家庭内での食事やお弁当需要へシフトする動きを後押ししており、内食および惣菜市場においては新たな需要獲得の機会となっております。

このような環境の中、当社では中期経営計画（2022年度-2026年度）の最終年度において、ISHII VISION2030「農と食卓をつなぎ、子育てを応援する企業に」を掲げ、こうしたお弁当や内食ニーズの拡大を確実に取り込むべく、「子育て」をはじめとする様々なお客様の生活シーンを支えることにつながる食サービスの最大化と着実な実行に向けた取り組みを推進しております。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、お弁当ニーズや内食回帰の追い風を捉え、堅調に推移いたしました。

なお当社グループでは、主力製品および今後さらなる成長を目指す注力製品の動向をより明確に開示する目的から、当第１四半期連結累計期間より製品別の売上カテゴリ分類を変更しております。

対照表は、以下のとおりであります。なお一部の商品においては、対照表にとどまらず新区分の定義に基づいて振分けを修正しております。

<table>
<tr><td colspan="2">現状</td><td colspan="2">変更後：売上区分の適正化</td></tr>
<tr><td>売上区分</td><td>現状の区分の分解</td><td>売上小区分</td><td>売上大区分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">食肉加工品(ハンバーグ・ミートボール他)</td><td>冷蔵品</td><td>食肉惣菜</td><td rowspan="5">デイリー食品群</td></tr>
<tr><td>常温品</td><td rowspan="3">常温惣菜</td></tr>
<tr><td colspan="2">非常食</td></tr>
<tr><td rowspan="2">惣菜(サラダ・煮物等)</td><td>常温品</td></tr>
<tr><td>冷蔵品</td><td>その他惣菜</td></tr>
<tr><td rowspan="2">配慮食(食物アレルギー・減塩他)</td><td>地域性のないもの</td><td>幼児・配慮食品</td><td rowspan="6">ライフスタイル食品群</td></tr>
<tr><td>地域性のあるもの</td><td rowspan="2">地域食品</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地域商品</td><td>地域性のあるもの</td></tr>
<tr><td>正月時期に食されるもの</td><td rowspan="2">正月料理・佃煮</td></tr>
<tr><td colspan="2">正月料理</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他</td><td>その他</td></tr>
</table>

製品別業績の概況は、次のとおりであります。前期数値につきましては、変更後のカテゴリ分類に組み替えて比較分析を行っております。

製品別売上高	前第１四半期連結累計期間 (2025．４．１～2025．６．30)		当第１四半期連結累計期間 (2026．４．１～2026．６．30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
		%		%		%
食肉惣菜	2,416,504	88.6	2,467,883	86.0	51,379	102.1
常温惣菜	111,264	4.1	179,979	6.3	68,715	161.8
その他惣菜	70,682	2.6	72,740	2.5	2,058	102.9
幼児・配慮食品	14,214	0.5	15,770	0.6	1,557	111.0
地域食品	102,637	3.8	116,229	4.1	13,592	113.2
正月料理・佃煮	―	―	―	―	―	―
その他	13,575	0.5	18,624	0.7	5,049	137.2
合計	2,728,875	100.0	2,871,225	100.0	142,350	105.2

参考として、旧区分での集計は次のとおりであります。

製品別売上高	前第１四半期連結累計期間 (2025．４．１～2025．６．30)		当第１四半期連結累計期間 (2026．４．１～2026．６．30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	2,486,539	91.1	2,532,460	88.2	45,921	101.8
惣菜	105,871	3.9	106,475	3.7	604	100.6
地域商品	72,340	2.7	87,670	3.1	15,330	121.2
正月料理	―	―	―	―	―	―
非常食	36,856	1.3	104,407	3.6	67,551	283.3
配慮食(食物エネルギー・減塩他)	12,763	0.5	14,758	0.5	1,995	115.6
その他	14,503	0.5	25,455	0.9	10,952	175.5
合計	2,728,875	100.0	2,871,225	100.0	142,350	105.2

食肉惣菜においては、一部PB(プライベートブランド)商品のマイナスはあったものの、主力商品のミートボール・とりそぼろを中心に数量が伸び、全体として51,379千円の増加となりました。物価高の情勢下で消費者のコスパ意識にあう商品として、1.5倍ミートボール・1.5倍チキンハンバーグの数量も伸長いたしました。

常温惣菜においては、68,715千円の増加となりました。いつでもミートボール・いつでも1.5倍チキンハンバーグの２商品が、ローリングストックやお子様とのおでかけ、アウトドアなど様々な場面で対応できる商品として訴求した結果、量販店をはじめ幅広い業態で取扱いいただき、本格導入３年目も順調に売上高が伸長し、またオンライン販売では常温保存ミートボールを含めた非常食が伸長いたしました。オンライン限定の新商品である常温保存てりやきミートボールは好調に売上を伸ばし、常温保存できる商品の今後のラインナップ拡充による売上拡大も見込んでおります。

その他惣菜においては、生協チャネルにおけるごぼうサラダが伸長して全体で2,058千円の増加となりました。

地域商品においては、全体で13,592千円の増加となりました。地域との取組みがさらに拡大し、販売エリア拡大や通年商品化などにより売上高が拡大いたしました。一方で筍のまぜごはん関連商品の売上高は低下しており、旬の時期の食材のみを使用する商品の生産安定化や高付加価値商品としての再設計を検討しております。

売上原価、販売費及び一般管理費においては、中東情勢の影響で包材の値上がりが発生しており、また工場でのエネルギーコストも上昇しております。人件費につきましては物価高騰の中で従業員の生活水準を維持するため、ベースアップを行いました。その他経費につきましては、コスト増加を抑制するよう努めております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は28億71百万円（前年同期比１億42百万円増）となり、売上総利益は10億34百万円（前年同期比47百万円増）となりました。販売費及び一般管理費は８億96百万円（前年同期比47百万円増）となり、営業利益は１億37百万円（前年同期比０百万円増）となりました。また、経常利益は１億47百万円（前年同期比11百万円増）となり、これに特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は１億円（前年同期比25百万円増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は82億16百万円（前連結会計年度末比16百万円増）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少２億２百万円、投資有価証券の増加１億27百万円、その他の流動資産の増加59百万円、商品及び製品の増加56百万円であります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は42億85百万円（前連結会計年度末比94百万円減）となりました。主な要因は、その他流動負債の減少２億36百万円、未払費用の増加１億21百万円、賞与引当金の減少１億10百万円であります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は39億31百万円（前連結会計年度末比１億11百万円増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上１億円、その他有価証券評価差額金の増加86百万円、配当金の支払66百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月14日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,064,164	1,861,774
売掛金	1,513,518	1,538,253
商品及び製品	102,106	158,848
仕掛品	4,664	6,152
原材料及び貯蔵品	214,888	229,118
その他	67,341	127,116
流動資産合計	3,966,683	3,921,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	532,894	531,397
機械装置及び運搬具（純額）	1,036,315	980,269
工具、器具及び備品（純額）	32,932	30,863
土地	809,029	809,029
リース資産（純額）	69,883	65,442
建設仮勘定	133,300	143,601
有形固定資産合計	2,614,355	2,560,603
無形固定資産	415,665	400,775
投資その他の資産		
投資有価証券	1,070,078	1,197,463
その他	172,423	176,076
貸倒引当金	△39,200	△39,200
投資その他の資産合計	1,203,301	1,334,340
固定資産合計	4,233,323	4,295,719
資産合計	8,200,006	8,216,983
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,679	386,821
短期借入金	1,900,000	1,900,000
未払費用	793,917	915,689
契約負債	7,133	6,378
未払法人税等	26,686	45,760
賞与引当金	110,630	－
株主優待引当金	14,713	12,622
その他	394,299	157,802
流動負債合計	3,561,060	3,425,076
固定負債		
退職給付に係る負債	493,007	499,792
資産除去債務	149,292	149,295
繰延税金負債	116,344	155,687
その他	60,305	55,282
固定負債合計	818,950	860,058
負債合計	4,380,011	4,285,135

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,063,947	2,098,005
自己株式	△376,125	△376,125
株主資本合計	3,280,223	3,314,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469,448	556,444
退職給付に係る調整累計額	70,323	61,122
その他の包括利益累計額合計	539,772	617,566
純資産合計	3,819,995	3,931,848
負債純資産合計	8,200,006	8,216,983

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
売上高	2,728,875	2,871,225
売上原価	1,742,084	1,836,862
売上総利益	986,791	1,034,363
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	188,434	213,678
退職給付費用	10,343	9,627
支払手数料	132,697	122,247
運搬費	167,287	205,740
販売促進費	18,473	14,141
その他	332,198	331,019
販売費及び一般管理費合計	849,434	896,454
営業利益	137,356	137,908
営業外収益		
受取配当金	1,454	14,524
受取賃貸料	1,165	1,263
その他	1,246	389
営業外収益合計	3,866	16,178
営業外費用		
支払利息	4,871	6,452
その他	408	259
営業外費用合計	5,280	6,712
経常利益	135,942	147,374
特別損失		
固定資産処分損	0	－
減損損失	490	12,092
特別損失合計	490	12,092
税金等調整前四半期純利益	135,451	135,281
法人税等	60,094	34,636
四半期純利益	75,357	100,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,357	100,644

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
四半期純利益	75,357	100,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,242	86,996
退職給付に係る調整額	△6,875	△9,201
その他の包括利益合計	△12,117	77,794
四半期包括利益	63,239	178,439
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,239	178,439
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	98,995千円	109,104千円

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。